



# るんるんルームだより



ほしぐみ

R6. 6. 3

進級して2か月が経過し、子ども達はほし組での生活にすっかり慣れてきました。友達の名前だけでなく、はな組の子の名前も覚え、「〇〇くん」とお世話をし、お姉さんお兄さんぷりを発揮しています！

生活面では、「見通しを持って行動できるように！」ということ意識し過ごせるようになってきたほし組の子どもたち。外へ行く前は、「トイレ→お茶→靴下を履く」という流れがわかってきたようで、「トイレ行ったから次は、お茶だね」と言う子も増えてきました。公園から保育園に戻るときも、帰る少し前に、「もうすぐ帰ろうね。お片付けしてね」と声掛けをするようにしてみました。前もって伝えることで、すぐに気持ちを切り替え帰る支度をし始めるようになってきました。これからも見通しが持てるような言葉掛けを意識し関わっていきたいと考えています。



## 自分でできる！やった！できた！

自分で出来ることは良いことです。衣服の着脱の習慣は日々の積み重ねで培われます。園では「自分でやりたい！」という気持ちを大切にし見守っています。時には、時間がかかってもしまうこともありますが、「最後まで自分でできた！」という達成感を味わえるよう側で見守り励ましているところです。いろんなことができるようになってるので、お母さん、お父さんに時間の余裕があるときは、そっと見守ってみてください。「こんなことができるようになってる！」と新たな発見があるかもしれませんよ。そしてできたときは、たくさん褒めてあげてください。大好きなお母さん、お父さんに褒められると子ども達の意欲もどンドンでてくると思います。

靴・靴下は、共に難しいのが、“かかとを入れる”ことです。つま先を入れた後、かかと側を引っ張ることを伝えています。「ここを引っ張るといいよ」と具体的に引っ張る場所なども伝えています。また、靴を履く時は紐のような部分を引っ張れるよう促しています。難しいときは、大人と一緒に引っ張ってみたり、「できるよ」「やってみよう」と励ましたりしています。苦戦しながらも必死に自分でやろうとするほし組さん。頑張った分だけ、できたときの喜びは大きいようで、「できた！」と目をキラキラさせています。子ども達がスムーズに靴や靴下を脱いだり履いたりできるよう、園用靴のサイズなどの確認をお願いします！

肌着、シャツを着るときは服の前後を知らせ、子どもが着やすいように渡します。頭を入れた後に左右の袖を通すよう伝え、脱ぐときは、裏返しにならないように、シャツの襟を持って脱ぐ練習をしています。脱ぐのが難しい子は袖を大人がちょっと持ち、脱ぎやすいように援助しています。

脱いだ後は大人と畳み方を確認しながら一緒に行っています。「半分こ」と言いながら意欲的に行い、大人の少しの支援で畳めるようになってきました。



- 13日(木) 避難訓練
- 14日(金) 身体測定
- 20日(木) 歯科健診(午前)

5月の連休明けから、育てているミニトマトに小さいトマトの実がなりました。赤くなるのをお楽しみに。

